



# 留学

が気になったら  
考えてみよう

その 3

## 留学タイプ・国別費用

### 留学先：アメリカ

期間：2年3か月

プログラム：大学院で修士号取得

#### ●留学費用(約500万円)

生活費…約150万円

学費…約350万円

授業助手などで学費減免措置を受けましたが、それでもアメリカの大学は学費が高いと感じます。私は授業助手をしてお給料をもらっていました。



Jさん H24 (学)

### 留学先：シンガポール

期間：1年(2セメスター)

プログラム：所属大学の協定校の中で学内選考に応募

#### ●留学費用(約150万円)

Aさん H28 (高)

生活費…約150万円(寮費・交際費・渡航費等含む)

学費…交換留学なので日本の大学の学費のみ。(私の留学した大学だと正規留学では2セメスター約68万円かかります)シンガポールは他の東南アジアの国々に比べて感染の危険性はほとんどありませんが、予防接種の費用が高いです。念の為日本の接種をお勧めします。



### 留学先：イギリス

期間：1年

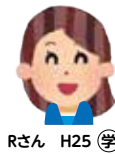
プログラム：大学院で修士号取得

#### ●留学費用(約400万円)

生活費…約100万円(自炊中心でかなり節約をしました。)

学費…約300万円(寮費含む)

他国の修士号に比べて期間が1年と短く、密度の濃い短期集中型。学費を抑えられることやキャリアアップを少なくできるメリットがあります。



Rさん H25 (学)

### 留学先：カナダ

期間：1年

プログラム：在学高校の留学プログラムを利用

#### ●留学費用(約250万円)

生活費…約175万円

(ホームステイ代・サマーキャンプ代・渡航費等含む)

学費…約75万円

留学先の国の物価によると思いますが、私の場合はお小遣いとして月15,000円ほど使っていました。



Mさん H28 (高)

## 教えて!センパイ

## 留学体験談



### 「高校生一人、森の中へ留学！」

★先輩体験談：田中 明咲さん

留学先：インドネシア カディパテン高校 約10か月 H29(高)

#### ●留学費用(おおよそ)

約80万円

留学先の学校がインドネシア政府の林業省の附属高校のため、学費、生活費共に学校側が支給してくれたのでそこまでかかりませんでした。具体的にかかった費用としては、保険、予防接種、現地でのパスポート更新、渡航費、生活費や交通費です。地方のためほかの都市と比べて物価が安く、生活費がそこまでかからずに済みました。

#### ●留学先を決めた理由

学校生活の中でインドネシア人と交流する機会が沢山あり、交流を重ねていくうちに、インドネシアの環境問題や森林保全について知りたいと思うようになりました。実際に現地に飛び込むことで、より深く知ることが出来るのではないかと考え留学を決めました。

#### ●良かったところと苦労したところ

イスラム教の挨拶で、右手で握手をして顔をつけるという挨拶があります。自分にとって未知の挨拶でしたが、事前に学校の交流を通じて仲の良かったインドネシア人の友人や、他の留学経験のある人たちにイスラム教の文化について話を聞いていたので、すぐに対応することができました。

また、2か月間国立公園に実習に行き、現地の方と一緒に絶滅危惧種の動植物の調査や近隣住民との交流などを行いました。インドネシアで今起こっている問題と、それに対して現地で人々が協力し合い活動している姿をみる事ができたこと、共に活動できたことは、私にとって大きな喜びとなりました。



サバイバルも友人たちと乗り越えた



スマトラ島の国立公園内にある保護施設で象と触れ合い

### 「高校と大学で2回ドイツへ留学！」

★先輩体験談：上野 梓さん

留学先：ドイツ ミュンスター大学 1年間 H28(高)

#### ●留学費用(おおよそ)

約140万円(学費：約10万円 生活費：約130万円)

JASSOの奨学金を毎月8万円受けていたので生活費はそれで賄えました。家賃はシェアハウスで毎月3万円くらい。また、ドイツはとても学費が安く、かつ学費の中にゼメスターチケット代(一定の地区のバス・電車乗り放題)も含まれているので移動費がほぼかからないことも非常にありがたかったです。

#### ●留学先を決めた理由

高校の時にドイツに11か月交換留学をしました。それがきっかけで大学へ進学し再びドイツへ留学したいと考え、大学ではドイツ語学科に入学しました。留学先の学校選びは所属大学の協定先の中から以前留学した地域にある大学を選択しました。語学の習得だけでなく、日本の所属大学では専攻出来ない心理学を留学中に学ぶことも留学の目的でした。

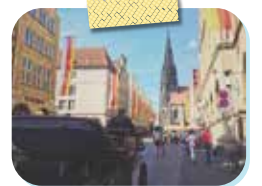


高校生の時のホストファミリーと

#### ●良かったところと苦労したところ

やはり留学では、言語の壁だけではなく、慣れない環境にも苦労しました。特に高校の時に初めてドイツへ留学した時は、何軒かお世話になったホストファミリーの中でも、1番初めのホストファミリーとは衝突した時期がありました。それでも、前向きによく話し合うことや気持ち伝えることで今ではどの家族よりも連絡を取り合い、大学留学の際にも一緒に旅行に出かけるような、私にとっては第2の家族となっています。

大学留学では、ドイツ語と英語の2言語の習得に苦戦しました。授業の際に毎回英語のテキストを大量に読み込んでいく必要があったり、ルームメイトとの会話は英語が多かったからです。そんな時、留学先の大学が紹介してくれた「タンデム」というシステムがとても役に立ちました。このシステムはドイツ語と日本語を相互に学びたいもの同士を引き合わせてくれ、語学を学びあえるシステムです。留学で語学の壁は必ず立ちはだかります。ただ、留学を実際経験してみると言語は現地でこそ修得出来るものだと感じました。



大学留学のミュンスターの街並み